

< 豊明市特別職報酬審議会（第1回）議事録 >

1 日 時

平成 20 年 1 月 31 日（木）

午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

2 場 所

豊明市役所 東館 3 階 会議室 10

3 出席者

委 員：8 名（相羽幹夫、稲垣由美子、梶田陽三、古賀順子、
都築和男、遠山仁照、内藤昌裕、森田哲夫）

事務局：企画部長、企画部次長兼人事秘書課長、人事秘書課長補
佐（人事担当）、人材開発担当係長、矢野主査

4 欠席者

なし

5 市長あいさつ

お忙しい中、委員をお引き受けいただきありがとうございます。
月日の経過は早く、焦りにも似た思いも感じます。本審議会は、民間出身の私としては仰々しいとも感じてしまうような名称の審議会ですが、委員の皆様の高い見識により、適切かつ効果的な議論をよろしく願います。

6 辞令交付及び委員紹介

代表で相羽幹夫委員へ市長より辞令交付。

各委員が自席にてあいさつ。

7 会長選出

委員の互選により都築和男委員に決定。

8 会長あいさつ

ご期待に沿えるよう、精一杯の努力をさせていただきます。本審議会は市長からの諮問に基づき特別職の報酬等について意見をまとめる、市においても大変重要な審議会の一つです。皆様の絶大なるご協力を得て進めてまいりたいと思います。

9 会長職務代理選出

会長の指定により森田哲夫委員に決定。自席にてあいさつ。

10 諮問書手交

市長より会長へ諮問書朗読のうえ手交。(手交後、市長退室。)

11 審議

(会長) 審議に先立ち、本審議会の公開について事務局の報告を求めます。

(事務局) 公開指針に基づき平成14年度の本審議会にて決定された事項を報告。

- ・傍聴は認めない。(率直な意見交換、意思決定中立性確保のため。)
- ・資料2について、1ページの各委員の住所、11ページの一般職最高号給者の欄は非公開。(個人情報のため。)
- ・資料3については非公開。(他団体情報のため。)
- ・審議の要旨については発言者を単に「委員」として公開。本市ホームページ上でも公開。
- ・諮問書及び答申書は公開。

(会長) 公開について本年度も同様としてよろしいか。

全出席委員異議なし

(会長) 配付資料について、事務局の説明を求めます。

(事務局) 資料2、3及び4に基づき説明をなす。

(会長) まずは資料の内容について、各委員からの質問・意見等をお願いします。

(委員) 資料2の2ページ、役職等加算とは何か。

(事務局) 役職等加算とは、役職及び職責の度合いを考慮して期末手当算定時に乗じる率であり、月額報酬額算定には用いません。

(委員) 資料2の4ページ、適用年月日と前回改正年月日の意味あいは。

(事務局) 表に記載の改正後報酬月額が適用された日を示すのが適用年月日。その1つ前に改正があったのがいつなのかを示すのが前回改正年月日です。

- (会 長) 概略的に資料を俯瞰すると、諸々の数値について、豊明市は類似市の中で中段あたりを推移しているのかな、という印象。
- (委 員) 資料2の10ページ、一般職には勤勉手当があるのか。また、支給月数は年間を通してのものか。
- (事務局) 勤勉手当は、一般職に対して勤務成績に基づき異なる支給率により支給されます。期末・勤勉手当の支給は、6月と12月の年2回であり、資料の支給月数は、2回分を合算した1年分の数字です。
- (委 員) 豊明市は19年度から交付税の不交付団体となったが、資料の財政状況を見る限り、財政力指数が1.0を超えるような状況とは思えない。基金残高もなく、経常収支比率も90%近い。なかなか報酬額の改正は難しいかな、という印象を持つ。
- (委 員) 先の委員の言われる「改正」ということに、減額改定は含まれないのでしょうか。
- (委 員) いいえ。説明に基づき資料概要を見た現段階での印象であって、もちろんこれから詳しく検討することになります。
- (会 長) 結論を集約するスケジュールとしてはどうですか。
- (委 員) 本日、資料を検討し、時間をとって各委員に考えてもらうためにも、後日もう一度審議会を開いて慎重に検討すべきかと思う。
- (委 員) 私も同じ意見です。
- (委 員) 平成19年の改選時に議員定数が4減されているが、その分の人件費はどれくらいか。
- (事務局) 参考として昨年の資料をお配りします。
- (委 員) 時代のすう勢として、なかなか増額は難しいのでは。
- (委 員) 昨年の審議会でも、実際の活動を見て、という意見も出ていたと思う。いろいろと不祥事もあった。
- (委 員) 資料2の16ページ、豊明市の経常収支比率の推移は。
- (事務局) すぐに担当課に確認して参ります。本市も団塊の世代が退職していき、全国的な傾向と同様ではありますが、人件費の総額

的には減少傾向が見られます。また、先ほど不祥事という言葉がありました。今年度の人事院勧告においては、0.05 月分のボーナス率上乘せが盛り込まれていましたが、中央官庁での不祥事等にも配慮して、閣議決定において特別職については除外されております。

お待たせしました。本市の経常収支比率の過去 5 年分の推移を申し上げます。H14 年度...84.8(33.3)、H15 年度...86.8(33.2)、H16 年度...89.5(34.7)、H17 年度...90.1(35.2)、H18 年度...88.6(34.2)。

()内は、人件費に係る経常収支比率。

(委員) 概ね同じような範囲を推移している印象ですね。それから資料 2 の 12 ページ、市税の決算見込みが前年度対比で増えているがどういった要因か。

(事務局) 19 年度の予算は、国から地方への税源移譲を始めとした制度上の改正を見込んでおります。

(委員) 受けていた交付税額は年間どれくらいだったのか。

(事務局) 普通交付税がおよそ 1 億円、特別交付税と合わせると、年間およそ 2 億 5 千万円です。

(会長) それ以上の何かがないと苦しいところか。

(委員) 制度改正を主な要因とする税収の伸びだけでは埋められないと言える。今年度、基金の伸びは見込めるのか。

(事務局) 3 月補正予算の中で上程されます。現在は担当課にて試算中といった状況です。

(委員) 全く上積みされないということはないのではないかとこのところか。

(委員) 収入役が廃止されたのはいつからか。

(事務局) 本市の場合、H19 年 6 月末日をもって任期が満了し、その後は部長級一般職である会計管理者がその職責を担っています。

(委員) 豊明市では、副市長は 1 人か。

(事務局) そのとおりです。

(委員) 改選時の市議の入れ替わりはどのくらいだったか。

(事務局) 印象としては全体の 3 分の 1 くらいの入替わりであっ

たのではないのでしょうか。

(会 長) 時間もかなり経過しました。次回、各委員の結論をお聞きして、審議会としての結論を集約したいが、いかがですか。

(委 員) そうしたい。

(会 長) では、本日はこれで散会し、次回は2月7日(木)午後1時00分より本審議会を再開することとしてよろしいか。

全出席委員異議なし

(会 長) 異議なしと認めます。次回、結論をまとめたいと思います。本日はこれで散会します。お疲れ様でした。

午前 11 時 30 分 散会